

I 病院の概要

1 沿革

昭和初期に野山村民の医療への不安からの脱出のため、「自分たちの命は自分たちで守ろう」と産業組合連盟の有志が各地で診療所設置運動に立ち上がったことが契機となり、昭和7年11月、組合立一関実費診療所として開設されたのが始まりであり、昭和25年11月1日に県営移管され、岩手県立磐井病院となった。

昭和41年6月に、一関駅前から山目字前田13番地に病床数222床として新築移転し、病床数の増床、高度医療器械の整備を進めながら、平成4年7月に5病棟体制305床となった。

医学、医術の急速な進歩と拡大、医療需要に対応するため、数回にわたって増改築を行うとともに、診療体制の充実や高度医療器械等の整備を図り、地域医療の確保に努めてきたが、敷地及び建物が狭く老朽化し、今後の新たな医療需要に対応することが極めて困難な状況となったことから、両磐保健医療圏の中核病院としての機能を十分に果たすため、平成15年9月に一関市狐禅寺字大平及び峯下地内に新磐井病院の建築を開始し、平成18年4月1日、標榜診療科20診療科、病床315床の新しい磐井病院として開院した。

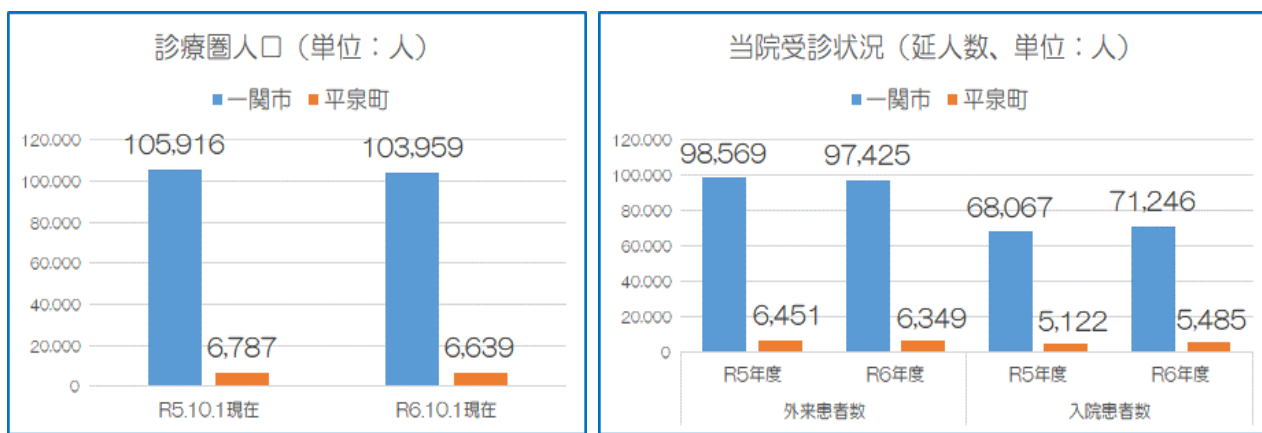
2 病院年譜

昭和10年 1月 7日	購買利用組合磐井病院 (29床)
昭和11年 10月 1日	岩手県医薬購買利用組合連合会に移管 医薬連磐井病院と改称
昭和14年 12月 1日	病棟増築 (52床)
昭和16年 12月 1日	岩手県信用販売購買利用組合連合会に移管 研産連磐井病院と改称
昭和18年 12月 1日	岩手県農業会に移管 農業会磐井病院と改称
昭和21年 4月	真滝診療所開設
昭和22年 9月 14日～16日	キャサリン台風被災
昭和23年 9月 16日～17日	アイオン台風被災
昭和23年 11月 1日	岩手県厚生農業共同組合連合会に移管 厚生連磐井病院と改称 (98床)
昭和25年 11月 1日	岩手県に移管 岩手県立磐井病院と改称 内科・小児科・外科・産婦人科・耳鼻科・眼科・物療科 計 150床
昭和26年 8月 1日	真滝診療所、平泉診療所を磐井病院附属診療所に改組
昭和30年 3月 31日	平泉診療所地元移管
昭和30年 11月	患者収容定員変更 一般121床、結核38床、計159床
昭和33年 6月	患者収容定員変更 172床
昭和33年 10月	総合病院名称使用承認、基準看護及び基準給食実施承認
昭和35年 4月 1日	県立一関高等看護学院実習病院となる
昭和35年 8月	皮膚科、整形外科開設
昭和38年 5月	患者収容定員変更 一般186床、結核36床、伝染10床、計232床

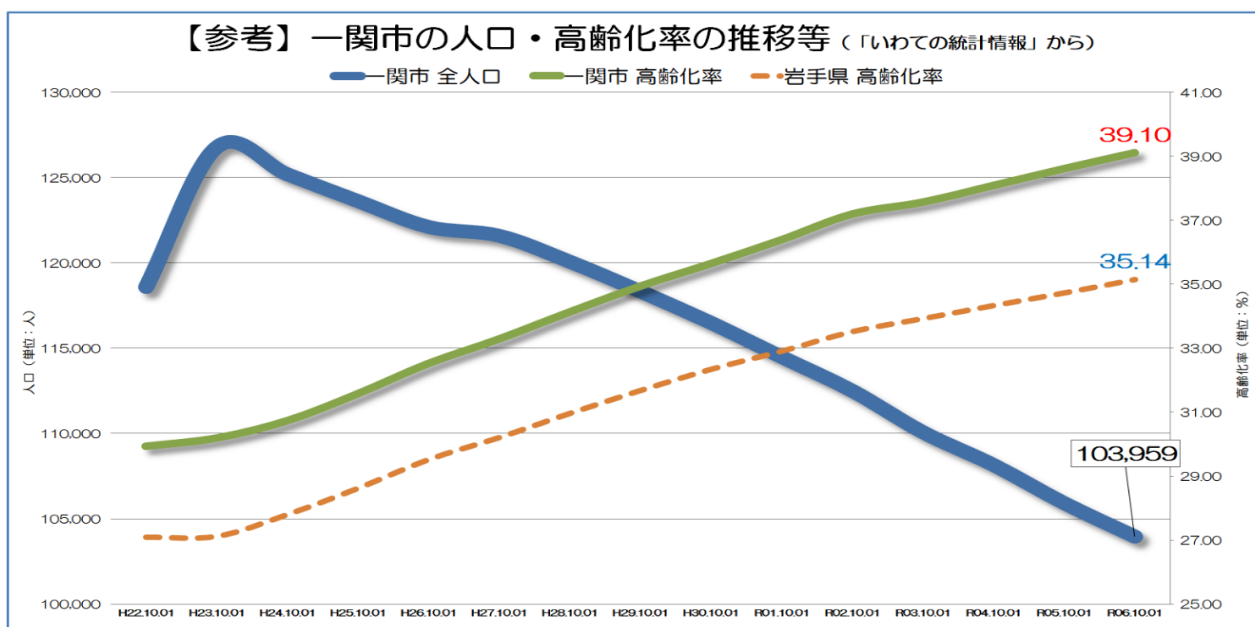
昭和 41 年 6 月	移転新築 内科・小児科・外科・整形外科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科・理学診療科 一般 186 床、結核 36 床、計 222 床
昭和 42 年 5 月	救急指定病院指定告示
昭和 55 年 3 月	救急サブセンター附設 30 床 計 252 床
昭和 55 年 5 月	二次救急医療実施（病院輪番制）
昭和 55 年 9 月	脳神経外科開設
昭和 57 年 6 月	結核病床 36 床を一般病床に転用
昭和 62 年 12 月	形成外科開設
昭和 63 年 4 月	泌尿器科開設
平成 元年 7 月	待合ホール、手術棟の改築
平成 3 年 4 月	麻酔科開設
平成 4 年 7 月	診療等棟増設（第 5 病棟 53 床）計 305 床
平成 8 年 4 月	第一内科を内科、消化器科に、第二内科を循環器科に改編
平成 9 年 4 月	救急処置室増築
平成 10 年 4 月	呼吸器科開設
平成 13 年 4 月	神経内科開設
平成 14 年 4 月	心療内科開設、緩和医療科設置
平成 15 年 9 月	新病院建築工事開始
平成 15 年 12 月 15 日	新磐井病院・南光病院安全祈願
平成 18 年 3 月 27 日	新磐井病院・南光病院落成式
平成 18 年 3 月 31 日	新磐井病院に入院中の患者を移送（移送患者 57 人）
平成 18 年 4 月 1 日	移転新築 内科・心療内科・神経内科・呼吸器科・消化器科・循環器科・小児科・外科・整形外科・形成外科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻いんこう科・リハビリテーション科・麻酔科・歯科・放射線科 一般 305 床、結核 10 床、計 315 床
平成 19 年 1 月	病院機能評価受審完了
平成 19 年 3 月	附属真滝診療所閉所
平成 21 年 7 月	D P C 対象病院
平成 22 年 2 月	呼吸器科休診
平成 22 年 4 月	心臓血管外科開設 附属花泉地域診療センター民間へ経営移管
平成 23 年 4 月	地域周産期母子医療センター
平成 24 年 4 月	附属花泉地域診療センター民間から経営移管
平成 25 年 10 月 1 日	地域医療支援病院
平成 26 年 2 月	病院機能評価審査更新
平成 26 年 4 月	呼吸器科再開
平成 27 年 8 月	眼科再開

平成 28 年 6 月	自治体立優良病院全国自治体病院開設者協議会及び全国自治体病院協議会会長表彰
平成 29 年 1 月	総合診療科開設
平成 29 年 6 月	自治体立優良病院総務大臣表彰
平成 30 年 3 月	病院機能評価審査更新
平成 30 年 6 月	患者支援センター開設
令和 元年 8 月	「赤ちゃんにやさしい病院 (BFH: Baby Friendly Hospital)」に認定
令和 5 年 11 月	病院機能評価審査更新、岩手県営医療貢献賞受賞

3 診療圏人口・当院の患者状況



・診療圏人口: 「いわての統計情報」 <https://www3.pref.iwate.jp/webdb/view/outside/s14Tokei/top.html>



4 標榜診療科 (25 診療科)

内科、心療内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、麻酔科、歯科口腔外科、放射線科、リハビリテーション科、救急科、

病理診断科、精神科、消化器外科

【院内標榜診療科】

総合診療科、緩和医療科、新生児科、画像診断科、放射線治療科、血液内科

5 病床数・平均在院日数（令和7年3月31日現在）

病棟	病床数	入院診療科	平均在院日数
2 病棟	51 床	外科、救急科、歯科口腔外科	7.7 日
3 西病棟	60 床	小児科、新生児科、産婦人科、形成外科	5.5 日
3 東病棟	60 床	整形外科、脳神経外科、泌尿器科、耳鼻いんこう科	12.7 日
4 西病棟	50 床	消化器科、眼科	6.7 日
	10 床	結核病棟	7.3 日
4 東病棟	60 床	呼吸器科、循環器科、皮膚科、放射線治療科、神経内科、救急科	11.2 日
5 病棟	24 床	緩和医療科	28.6 日
合計	315 床		9.1 日

6 施設基準（令和7年3月31日現在）※網掛け項目は届出不要な基準

- ・初診料（歯科）の注1に掲げる基準
- ・情報通信機器を用いた診療
- ・医療DX推進体制整備加算1
- ・医療情報取得加算
- ・歯科外来診療医療安全対策加算1
- ・歯科外来診療感染対策加算1
- ・急性期一般入院料1
- ・結核病棟入院基本料（7対1入院基本料）
- ・総合入院体制加算2
- ・臨床研修病院入院診療加算（基幹）
- ・救急医療管理加算
- ・超急性期脳卒中加算
- ・妊産婦緊急搬送入院加算
- ・診療録管理体制加算1
- ・医師事務作業補助体制加算1（15対1）（結核50対1）
- ・急性期看護補助体制加算（25対1）、夜間100対1急性期看護補助体制加算、夜間看護体制加算、看護補助体制充実加算1
- ・看護職員夜間配置加算1（16対1）
- ・療養環境加算
- ・重症者等療養環境特別加算
- ・がん拠点病院加算1 地域がん診療病院

- ・栄養サポートチーム加算
- ・医療安全対策加算 1、医療安全対策地域連携加算 1
- ・感染対策向上加算 1、指導強化加算
- ・患者サポート体制充実加算
- ・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
- ・ハイリスク妊娠管理加算
- ・ハイリスク分娩管理加算
- ・呼吸ケアチーム加算
- ・術後疼痛管理チーム加算
- ・後発医薬品使用体制加算 1
- ・バイオ後続品使用体制加算
- ・病棟薬剤業務実施加算 1
- ・データ提出加算 2 及び 4（許可病床数 200 床以上）
- ・入退院支援加算 1、地域連携診療計画加算、入院時支援加算
- ・認知症ケア加算 1
- ・せん妄ハイリスク患者ケア加算
- ・精神疾患診療体制加算
- ・排尿自立支援加算
- ・地域医療体制確保加算
- ・小児入院医療管理料 4、養育支援体制加算
- ・緩和ケア病棟入院料 2
- ・外来栄養食事指導料 1 の注 2（栄養管理加算）
- ・心臓ペースメーカー指導管理料の注 5（遠隔モニタリング加算）
- ・高度難聴指導管理料
- ・糖尿病合併症管理料
- ・がん性疼痛緩和指導管理料
- ・がん患者指導管理料イ、ロ、ハ、ニ
- ・糖尿病透析予防指導管理料
- ・小児運動器疾患指導管理料
- ・乳腺炎重症化予防ケア・指導料
- ・婦人科特定疾患治療管理料
- ・二次性骨折予防継続管理料 1、3
- ・アレルギー性鼻炎免疫療法治療管理料
- ・下肢創傷処置管理料
- ・院内トリアージ実施料
- ・夜間休日救急搬送医学管理料、救急搬送看護体制加算 1
- ・外来放射線照射診療料
- ・外来腫瘍化学療法診療料 1、連携充実加算、がん薬物療法体制充実加算
- ・ニコチン依存症管理料

- ・療養・就労両立支援指導料の注3（相談支援加算）
- ・ハイリスク妊産婦共同管理料（Ⅰ）
- ・がん治療連携計画策定料
- ・がん治療連携管理料1（がん診療連携拠点病院）
- ・外来がん患者在宅連携指導料
- ・外来排尿自立指導料
- ・ハイリスク妊産婦連携指導料1
- ・薬剤管理指導料
- ・連携強化診療情報提供料 注1
- ・医療機器安全管理料1、2、歯科
- ・歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料
- ・救急患者連携搬送料
- ・在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注2（緩和ケア、褥瘡ケア、人工肛門ケア・人工膀胱ケア）、
- ・在宅患者訪問看護・指導料の注16 専門管理加算（緩和ケア、褥瘡ケア、人工肛門ケア・人工膀胱ケア）
- ・持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合）及び皮下連続式グルコース測定
- ・横隔神経電気刺激装置加算
- ・造血器腫瘍遺伝子検査
- ・遺伝学的検査の注1
- ・BRCA1／2 遺伝子検査（腫瘍細胞を検体とするもの）（1 卵巣癌患者、4 前立腺癌患者）
- ・BRCA1／2 遺伝子検査（血液を検体とするもの）（1 卵巣癌患者、2 乳癌患者、3 膵癌、4 前立腺癌患者）
- ・先天性代謝異常症検査
- ・HPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
- ・細菌核酸・薬剤耐性遺伝子同時検出
- ・クロストリジオイデス・ディフィシルのトキシンB 遺伝子検出
- ・検体検査管理加算（Ⅱ）
- ・植込型心電図検査
- ・胎児心エコー法
- ・ヘッドアップティルト試験
- ・神経学的検査
- ・コンタクトレンズ検査料1
- ・小児食物アレルギー負荷検査
- ・CT透視下気管支鏡検査加算
- ・精密触覚機能検査
- ・画像診断管理加算1

- ・ C T 撮影及びMR I 撮影
- ・ 冠動脈C T 撮影加算
- ・ 大腸C T 撮影加算
- ・ 心臓MR I 撮影加算
- ・ 一般名処方加算
- ・ 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
- ・ 外来化学療法加算 1
- ・ 無菌製剤処理料
- ・ 脳血管疾患等リハビリテーション料（ I ）、初期加算、急性期リハビリテーション加算
- ・ 廃用症候群リハビリテーション料（ I ）、初期加算、急性期リハビリテーション加算
- ・ 運動器リハビリテーション料（ I ）、初期加算、急性期リハビリテーション加算
- ・ 呼吸器リハビリテーション料（ I ）、初期加算、急性期リハビリテーション加算
- ・ がん患者リハビリテーション料
- ・ 歯科口腔リハビリテーション料 2
- ・ 耳鼻咽喉科小児抗菌薬適正使用支援加算
- ・ 硬膜外自家血注入
- ・ 人工腎臓 慢性維持透析を行った場合 1
- ・ 導入期加算 1
- ・ 下肢末梢動脈疾患指導管理加算
- ・ ストーマ処置の注 4（ストーマ合併症加算）
- ・ 組織拡張器による再建手術（一連につき）（乳房（再建手術）の場合に限る）
- ・ 乳がんセンチネルリンパ節加算 1 及びセンチネルリンパ節生検（併用）
- ・ 乳がんセンチネルリンパ節加算 2 及びセンチネルリンパ節生検（単独）
- ・ 乳腺悪性腫瘍手術（乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴わないもの）及び乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴うもの））
- ・ 食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）等
- ・ 経皮的冠動脈形成術
- ・ 経皮的冠動脈ステント留置術
- ・ ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
- ・ ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術（リードレスペースメーカー）
- ・ 植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
- ・ 大動脈バルーンパンピング法（ I A B P 法）
- ・ 腹腔鏡下肝切除術（部分切除及び外側区域切除）
- ・ 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
- ・ 膀胱水圧拡張術
- ・ ハンナ型間質性膀胱炎手術（経尿道）
- ・ 腹腔鏡下仙骨膿固定術
- ・ 医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則 5 及び 6 に掲げる手術（頭蓋内腫瘍摘出術等）
- ・ 医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 16 に掲げる手術（胃瘻造設術（内視鏡下胃瘻造設

- 術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む))
- ・ 周術期栄養管理実施加算
 - ・ 輸血管理料 I
 - ・ 輸血適正使用加算
 - ・ 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
 - ・ 胃瘻造設時嚥下機能評価加算
 - ・ レーザー機器加算
 - ・ 麻酔管理料 (I)
 - ・ 歯科麻酔管理料
 - ・ 放射線治療専任加算
 - ・ 外来放射線治療加算
 - ・ 高エネルギー放射線治療
 - ・ 1 回線量増加加算 (全乳房照射)
 - ・ 強度変調放射線治療 (I M R T)
 - ・ 1 回線量増加加算 (前立腺照射)
 - ・ 画像誘導放射線治療加算 (I G R T)
 - ・ 体外照射呼吸性移動対策加算
 - ・ 定位放射線治療
 - ・ 定位放射線治療呼吸性移動対策加算
 - ・ 保険医療機関間の連携による病理診断 (送付側)
 - ・ 保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製 (送信側)
 - ・ 保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速細胞診 (送信側)
 - ・ 病理診断管理加算 1
 - ・ 悪性腫瘍病理組織標本加算
 - ・ 口腔病理診断管理加算 1
 - ・ 看護職員処遇改善評価料 49
 - ・ 外来・在宅ベースアップ評価料 (I)、歯科外来・在宅ベースアップ評価料 (I)
 - ・ 入院ベースアップ評価料 56
 - ・ クラウン・ブリッジ維持管理料
 - ・ 入院時食事療養 (I)、特別食加算、食堂加算
 - ・ 入院時食事療養 (II)

7 職員体制・医師の状況・組織図 (令和 7 年 3 月 31 日時点)

(1) 職員体制

(単位：人)

区 分	正 規	常勤臨時	時間制臨時	計
医 師 ・ 歯 科 医 師	66			66.0
研 修 医		7		7.0
看 護 師	221	11	7.2	239.2

助産師	18			18.0
准看護師		2		2.0
看護補助者		20	13.5	33.5
薬剤師	16			16.0
薬剤助手		3	0.5	3.5
診療放射線技師	16		0.6	16.6
診療放射線補助員		1		1.0
臨床検査技師	15	3	1.6	19.6
臨床検査補助員		1		1.0
理学療法士	7			7.0
作業療法士	5			5.0
言語聴覚士	2			2.0
臨床工学技士	5			5.0
歯科衛生士		4		4.0
視能訓練士	2			2.0
医療安全管理専門員	1			1.0
管理栄養士	6	1		7.0
栄養士		1		1.0
栄養補助員		1		1.0
調理師	14	5	1.7	20.7
調理手		4		4.0
事務員	22	18	0.8	40.8
医療社会事業士	4	1		5.0
医療クラーク		37	0.5	37.5
ボイラー技士		1	0.8	1.8
運転技士		1		1.0
合計	420	122	27.2	569.2

注1：育児休業者・休職者を除く現員であること。

2：時間制臨時は常勤換算によること。

(2) 医師の状況

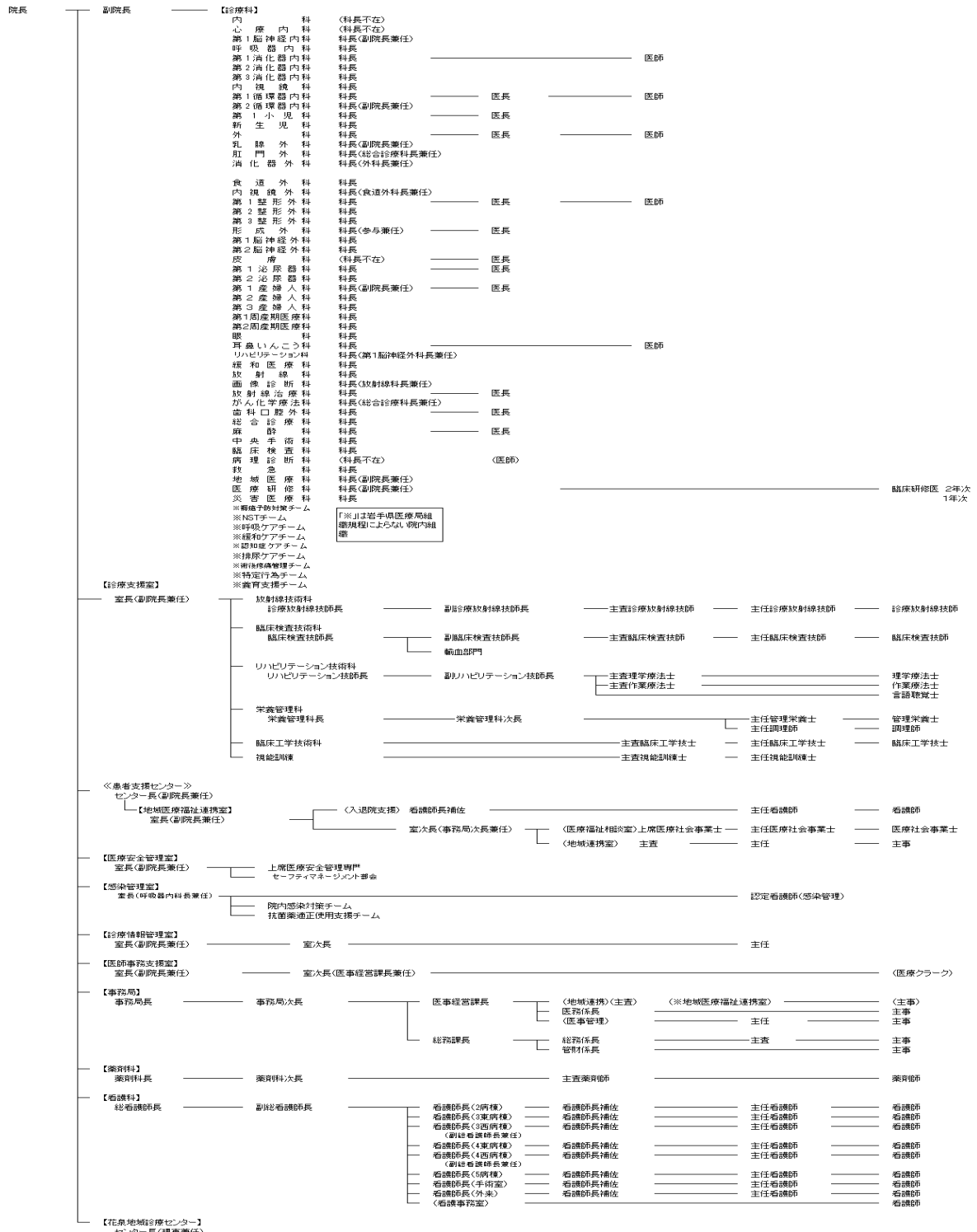
(単位：人)

診療科	正 規	常勤臨時	計	医務嘱託医・診療応援
内 科	0		0	
心療内科	0		0	東北大学・隔週
脳神経内科	1		1	岩手医科大学・週3回 北上済生会病院・週1回 済生会宇都宮病院・月2回
呼吸器内科	1		1	胆沢病院・月2回

消化器内科	8		8	東北大学・週5回 アビエスかんのクリニック・週1回 千和クリニック・隔週
循環器内科	6		6	岩手医科大学・週1回
小児科 (新生児科含)	4		4	岩手医科大学・月11回 もりおかこども病院・月1回 フリーランス医師・週8回
外科 (総合診療科含)	9		9	東北大学・月3回 JR 仙台病院・月1回 東北医科薬科大学・月1回 公立加美病院・週1回 中央病院・月2回 胆沢病院・月1回
整形外科	6		6	千和クリニック・月3回 高田病院・月1回
形成外科	2		2	岩手医科大学・週2回、月2回
脳神経外科	2		2	千厩病院・週1回 中嶋病院・週1回
心臓血管外科	0		0	
皮膚科	1		1	岩手医科大学・月1回 フリーランス医師・週2回、月2回
泌尿器科	3		3	岩手医科大学・週1回
産婦人科	6		6	東北大学・月7回 宮城県立がんセンター・月2回(土・日待機)
眼科	1		1	岩手医科大学・月2～3回
耳鼻いんこう科	3		3	東北大学・週1回、月1回(週末待機) 岩手医科大学・月2回 東北公済病院・月1回
麻酔科	3		3	東北大学・週1回 奥羽大学・週2回 くろだ歯科・月2回 フリーランス医師・月2回
歯科口腔外科	3		3	岩手医科大学・週1回、月1回
放射線科 (画像診断科、放射線治療科含)	3		3	東北大学・週1回(診断) 宮城県立こども病院・月1回(診断)
リハビリテーション科	0		0	
救急科	3		3	
病理診断科	0		0	東北大学・月2回 仙台赤十字病院・週5回 仙台徳洲会病院・月2回

精神科	0		0	
緩和医療科	1		1	宮城県立がんセンター・週2回
血液内科	0		0	中央病院・月2回
研修医	0	7	7	
合計	66	7	73	

(3) 組織図



(令和6年10月1日現在)

8 医療統計

(1) 患者数・病床利用率・平均在院日数・診療単価

区分		年度				
		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
入院	許可病床数	315	315	315	315	315
	延患者数	78,627	80,698	80,518	83,402	87,939
	1日平均患者数	215.4	221.1	220.6	228.5	240.9
	新入院患者数	7,353	8,041	7,850	8,151	8,715
	1日平均患者数	20.1	22.0	21.5	22.3	23.9
	病床利用率 (%)	68.4	70.2	70.0	72.4	75.5
	うち一般 (%)	70.5	71.7	71.0	73.6	78.9
	平均在院日数 (日)	9.7	9.1	9.3	9.3	9.1
外来	延患者数	109,333	115,091	114,982	117,706	116,477
	1日平均患者数	449.9	475.6	473.1	484.3	479.3
	初診患者数	10,278	10,737	11,440	11,233	10,973
	1日平均患者数	42.3	44.4	47.1	46.2	46.2

(2) 診療科別患者数

診療科名		年度				
		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
内科	入院	0	0	0	0	0
	外来	0	0	0	0	0
血液内科	入院	0	0	0	7	0
	外来	165	155	136	126	254
心療内科	入院	0	0	0	0	0
	外来	431	353	332	267	238
脳神経内科	入院	4,768	4,470	5,097	5,599	5,859
	外来	3,884	4,097	4,250	4,261	4,141
呼吸器内科	入院	4,064	6,645	6,953	5,579	6,695
	外来	5,028	5,267	5,338	6,160	6,764
消化器内科	入院	11,132	11,499	9,977	10,743	12,779
	外来	15,092	15,986	14,195	14,086	14,707
循環器内科	入院	5,386	5,055	4,577	5,036	5,103
	外来	4,076	4,645	4,675	5,237	5,915
小児科	入院	2,540	3,606	2,671	3,292	2,780
	外来	7,948	8,154	7,094	7,711	6,941
新生児科	入院	1,246	831	1,509	1,053	835
	外来	1,095	1,012	806	518	499

診療科名		年度				
		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
外科	入院	10,059	9,991	8,505	8,062	8,913
	外来	13,902	14,554	13,939	13,394	12,697
心臓血管外科	入院	0	0	0	0	0
	外来	0	0	0	0	0
整形外科	入院	10,674	10,423	10,976	13,533	14,91
	外来	10,179	11,717	10,522	11,382	11,357
形成外科	入院	866	1,201	1,071	1,256	838
	外来	4,383	4,133	3,764	4,164	4,147
脳神経外科	入院	4,483	2,220	3,010	3,036	3,844
	外来	2,345	2,444	2,369	2,373	2,135
皮膚科	入院	413	568	106	144	117
	外来	7,239	6,533	6,230	6,300	6,547
泌尿器科	入院	2,057	2,355	2,288	2,408	2,651
	外来	4,669	4,722	5,702	6,892	6,672
産婦人科	入院	10,583	9,974	10,572	9,724	8,845
	外来	9,817	9,709	9,461	9,593	9,714
眼科	入院	263	291	297	256	319
	外来	3,468	3,870	4,088	3,912	3,980
耳鼻いんこう科	入院	1,284	1,671	1,978	2,420	2,132
	外来	4,268	4,399	5,072	5,889	5,868
麻酔科	入院	0	5	0	0	0
	外来	289	266	228	287	256
放射線治療科	入院	83	39	102	34	39
	外来	3,433	3,783	5,390	4,381	3,151
画像診断科	入院	0	0	0	0	0
	外来	132	150	109	103	115
緩和医療科	入院	4,640	5,689	5,309	5,835	5,757
	外来	830	1,004	925	870	817
救急科	入院	3,777	3,748	5,167	4,857	5,377
	外来	1,980	2,827	5,104	4,386	4,064
総合診療科	入院	42	92	31	119	12
	外来	1,145	1,363	1,268	1,266	900
歯科口腔外科	入院	267	325	322	425	453
	外来	3,535	3,948	3,985	4,148	4,598
総計	入院	78,627	80,698	80,518	83,418	87,939

診療科名		年度				
		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
外来		109,333	115,091	114,982	117,706	116,477

(3) 救急患者数

区分		年度				
		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
患者数	標榜時間内	2,414	2,791	3,728	3,290	2,589
	標榜時間外	7,195	7,788	8,321	8,240	8,047
	計	9,609	10,579	12,049	11,530	10,636
	うち入院	3,091	3,348	3,153	3,126	3,431
うち救急車で搬送		2,666	2,685	2,998	3,205	3,606
うちドクターヘリで搬送		7	8	6	8	12

(4) 紹介・逆紹介

区分		年度				
		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
紹介患者数		4,544	4,816	5,041	5,445	5,441
逆紹介患者数		7,451	8,850	7,863	8,044	7,078
紹介率 (%)		59.1	60.1	60.8	72.2	76.9
逆紹介率 (%)		96.9	110.4	94.8	106.6	109.7

(5) 手術件数・分娩件数・死亡件数

区分		年度				
		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
手術件数		6,496	6,911	6,918	7,459	7,642
分娩件数		692	568	578	530	430
死亡件数		516	511	588	545	566

9 事業運営の状況

(1) 経営収支の状況

(金額単位：千円)

区 分 \ 年 度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
1 医業収益	7,831,076	8,308,551	8,574,381	8,904,709	9,356,506
入院収益	4,768,522	5,071,577	5,238,043	5,550,059	5,918,536
外来収益	2,335,096	2,464,495	2,573,075	2,640,309	2,723,970
【小計】	7,103,619	7,536,072	7,811,118	8,190,368	8,642,506
その他医業収益	727,458	772,479	763,262	202,662	177,300
2 医業外収益	1,973,240	2,163,082	2,213,222	1,597,487	1,174,118
3 特別利益	143,304	0	0	0	0
収益合計	9,947,621	10,471,633	10,787,603	10,502,196	10,530,624
(うち一般会計繰入金)	(981,816)	(1,000,734)	(1,220,277)	(1,329,734)	(1,136,759)
1 医業費用	8,165,812	8,438,654	8,754,906	9,189,337	9,480,273
給与費	4,456,293	4,586,165	4,706,696	4,970,769	5,126,715
(うち給料)	(1,974,658)	(2,049,991)	(2,091,196)	(2,211,877)	(2,370,052)
(うち手当)	(1,820,718)	(1,866,237)	(1,929,719)	(2,051,619)	(2,052,365)
材料費	2,131,201	2,206,001	2,241,392	2,424,087	2,562,442
(うち薬品費)	(1,387,841)	(1,429,175)	(1,453,835)	(1,538,069)	(1,654,458)
(うち診療材料費)	(690,807)	(720,431)	(729,738)	(821,928)	(844,190)
経 費	979,319	1,023,134	1,100,047	1,125,897	1,158,723
(うち修繕費)	(77,507)	(123,393)	(110,298)	(76,447)	(85,741)
(うち委託料)	(422,849)	(433,487)	(440,720)	(446,430)	(442,736)
(うち保守料)	(99,728)	(99,501)	(96,007)	(112,214)	(142,222)
交際費	0	0	0	0	0
減価償却費	566,728	580,616	653,103	611,915	580,300
資産減耗費	7,115	9,225	9,636	13,866	8,174
研究研修費	25,156	33,512	44,033	42,803	43,918
2 医業外費用	495,182	492,024	504,718	511,719	512,477
(うち支払利息)	(170,107)	(160,012)	(150,447)	(140,007)	(130,608)
3 特別損失	143,304	0	0	0	0
4 共通管理費	475,061	445,111	474,346	506,945	491,345
費用合計	9,279,359	9,375,789	9,733,970	10,208,002	10,484,094
差引損益	668,262	1,095,844	1,053,633	294,194	46,530
累積損益	8,427,002	9,522,846	10,576,479	10,870,673	10,917,203

(2) 患者平均収益の状況

(金額単位：千円)

区 分		年 度				
		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
入院	1人1日平均収益	60,647	62,846	65,054	66,490	67,305
	1日平均患者数	215.4	221.1	220.6	228.5	240.9
外来	1人1日平均収益	21,358	21,413	22,378	22,433	23,387
	1日平均患者数	449.9	475.6	473.1	484.3	479.3

(3) 公衆衛生活動の状況

(単位：人)

区 分		年 度				
		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
集団検診		7,299	6,569	6,328	5,833	5,255
個人健診		2,329	1,775	889	1,894	1,555
予防接種		5,380	4,651	4,386	4,342	3,981
人間ドック		0	0	0	0	0

(4) 管理料・指導料等の実績

区 分		年 度				
		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
麻酔管理料 (件)		1,228	1,391	1,368	1,525	1,544
入院栄養食事指導料 (件)		1,247	1,776	1,513	1,922	2,046
外来栄養食事指導料 (件)		910	1,154	923	972	1,049
栄養サポートチーム加算 (件)		227	210	172	151	169
薬剤管理指導料 (件)		6,740	6,787	5,815	5,786	7,507
薬剤情報提供料 (件)		6,780	7,115	7,503	7,100	5,239
救急医療管理加算 (件)		15,841	15,895	15,780	15,394	16,906
検体検査管理加算 (件)		28,998	30,784	32,042	31,544	31,363
外来迅速検体検査加算 (件)		93,817	103,915	97,366	103,246	108,152
診療情報提供料 (件)		8,329	9,349	7,836	8,214	8,343
外来化学療法加算 (件)		2,519	2,464	134	129	139
外来化学療法診療料 (件)				3,310	3,063	3,425
入退院支援加算 (件)		4,175	4,991	4,657	4,700	4,405
院内トリアージ実施料 (件)		3,993	5,969	8,552	7,695	1,050
褥瘡ハイリスク患者ケア加算 (件)		687	764	857	864	1,003
がん診療連携拠点病院加算 (件)		238	367	344	351	188
がん患者指導管理料 (件)		1,149	1,316	538	464	356
院外処方率 (%)		86.1	86.0	84.8	85.7	89.3
医療相談 (件)		9,532	9,861	7,882	8,328	7,776

10 指定医療機関・学会認定

(1) 指定医療機関

保険医療機関
国民健康保険療養取扱機関
労災保険指定医療機関
基幹型臨床研修病院
歯科医師臨床研修施設（協力型）
生活保護法等指定医療機関
結核指定医療機関
第二種感染症指定医療機関（結核病床）
救急告示病院
二次救急病院群輪番病院
指定養育医療機関
母体保護法指定病院
地域周産期母子医療センター
原子爆弾被爆者一般疾病医療取扱病院
地域がん診療連携拠点病院
DPC対象病院
指定自立支援医療機関（育成医療、更生医療、精神通院公費）
地域医療支援病院
指定小児慢性特定疾病医療機関
難病医療費助成指定医療機関
肝炎治療指定医療機関

(2) 学会認定

日本内科学会内科専門医一般教育関連病院
日本外科学会外科専門医制度修練施設
日本脳神経外科学会専門医研修プログラム連携施設
日本神経学会専門医制度認定准教育施設
日本整形外科学会専門医制度認定研修施設
日本形成外科学会教育関連施設
岩手眼科専門研修プログラム連携施設
東北大学耳鼻咽喉科専門研修プログラム連携施設
日本泌尿器科学会専門医教育施設
日本麻酔科学会麻酔科認定病院
岩手医科大学産婦人科研修プログラム連携施設
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
岩手医科大学皮膚科専門研修プログラム準連携施設
岩手医科大学内科専門研修プログラム連携施設

岩手県立中央病院内科専門研修プログラム連携施設
日本口腔外科学会認定准研修施設
日本救急医学会救急科専門医指定施設
日本がん治療認定医機構認定研修施設
日本周産期・新生児医学会周産期（新生児）専門医補完研修施設
日本周産期・新生児医学会周産期母体・胎児専門医指定研修施設
日本消化器外科学会専門医修練施設
日本乳癌学会認定医・専門医制度認定施設
日本肝臓学会認定施設
日本外科感染症学会外科周術期感染管理医認定制度教育施設
日本内分泌外科学会・日本甲状腺外科学会専門医制度認定施設
日本緩和医療学会認定研修施設
日本静脈経腸栄養学会栄養サポートチーム（NST）稼働認定施設
日本病理学会研修登録施設
日本消化管学会胃腸科指導施設
岩手医科大学附属病院小児科専攻医プログラム連携施設
日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設

11 緩和ケア病棟の概要

(1) 緩和ケア病棟設立経過

2000年	院内に緩和医療研究会発足
2002年	在宅緩和ケアモデル事業
2003年	新病院に緩和ケア病棟開設決定 ※ 県内初の開設（県立病院改革実施計画）
2004年5月10日	緩和医療科開設
2006年4月1日	新病院開院
4月10日	緩和ケア病棟開棟
2007年1月1日	緩和ケア病棟入院料施設基準届出
2008年7月1日	専従医師退職のため緩和ケア病棟入院料施設基準辞退
2010年4月1日	専従医師着任
7月1日	緩和ケア病棟入院料施設基準届出
2018年3月2日	日本医療機能評価機構 副機能：緩和ケア病院認

(2) 診療体制

緩和ケア外来（月曜日～金曜日）

医師1名、がん専門看護師1名、がん性疼痛認定看護師1名

緩和ケアチーム

医師1名、がん性疼痛認定看護師1名、緩和ケア認定看護師1名、がん専門看護師1名、薬剤師2名、管理栄養士1名、理学療法士1名、医療社会事業士1名、精神科医師1名、臨床心理士1名、緩和ケアリンクナース7名

緩和ケア病棟

緩和医療科、各診療科

(3) 施設概要

病床数24床（無料個室13室、有料個室7室、2床室2室）

スタッフ

緩和医療科医師	1名
看護師	18名（うち緩和ケア認定看護師1名）
医療社会事業士	1名
事務委託職員	1名
緩和ケアボランティアコーディネーター	1名

(4) 病棟目標

患者さんの身体や心のつらさを和らげ、患者さん・家族の意思を大切にして

「いつでも、どこでも、その人らしく」穏やかな毎日を過ごすことができるよう目指します

(5) 病棟基本方針

- ・ 入退院支援部門、在宅スタッフと連携した退院支援の実施
- ・ 多職種カンファレンス実施によるチーム医療の推進
- ・ 患者さんやご家族に満足していただける療養生活の支援

(6) 入棟基準

- ・ がんを患っている
- ・ そのために体調が思わしくない
- ・ 本人が入棟について希望または同意している
(本人が判断できない時は家族の希望または同意による)
- ・ 本人は病状について詳しい説明を受け、よく承知である

(7) 入棟判定会議 (随時)

【メンバー】

緩和医療科医師、主治医、病棟師長、医療社会事業士、緩和ケア病棟看護師、緩和ケアチーム看護師

(8) 病棟運営 (実績)

区分 年度	病棟 利用率	入棟状況	自宅退院 施設退院	死亡退院
平成 26 年度	61.5%	188 人	48 人	149 人
平成 27 年度	70.0%	178 人	46 人	127 人
平成 28 年度	64.0%	165 人	40 人	134 人
平成 29 年度	66.1%	186 人	47 人	139 人
平成 30 年度	57.7%	197 人	43 人	129 人
令和元年度	62.3%	207 人	51 人	153 人
令和 2 年度	53.8%	204 人	53 人	151 人
令和 3 年度	64.9%	225 人	60 人	146 人
令和 4 年度	61.1%	223 人	45 人	174 人
令和 5 年度	66.4%	201 人	47 人	153 人
令和 6 年度	60.9%	178 人	41 名	130 名

(令和 7 年 2 月末)

当院臨床研修の概要

研修理念

岩手県立磐井病院理念を理解し、常に病むものとあり、救急医療、地域医療に貢献できる医師となるようにプライマリ・ケアの基本的な診察能力(知識、態度、技能)を身に着け、社会常識の涵養、人格の陶冶に努める。

研修目標

- 1 : On the job training で多数の実経験を積む
- 2 : 最短で専門医資格をとる
- 3 : 2年次で救急外来を仕切る
- 4 : 知識や技能だけでなく、医師としての人間性も磨く

臨床研修プログラム

リインターン 2週	内科 24週			麻酔 4週	救急 4週	外科 8週	自由選択 10週
地域 4週	精神 4週	小児 4週	産婦 4週	自由選択 36週			
※当直・救急							

※ 救急外来の日当直診療は1年次の5月から開始し、当直に関しては当面の間は22時頃までの副当直、秋頃から翌日までの当直診療とする

※ 2年間で一般外来4週（並行研修またはブロック研修により）

※ 地域医療は2年次で研修

磐井病院臨床研修プログラム

(1)プログラム名称

岩手県立磐井病院臨床研修プログラム(プログラム番号 030780601)

(2)プログラム責任者

前川 慶之(災害医療科長)

(3)臨床研修区分(施設番号:030780)

臨床研修指定病院 2003年 10月27日

基幹型臨床研修病院 2003年 10月27日

(4)研修協力施設

《協力施設》*地域医療研修

施設	住 所	電話
特定医療法人博愛会一関病院*	一関市大手町 3-36	0191-23-2050
国立病院機構岩手病院*	一関市山目泥田山下 48 番地	0191-25-2221
一関市国民健康保険藤沢病院*	一関市藤沢町藤沢字町裏 52 番地 2	0191-63-5211
岩手県立大東病院*	一関市大東町大原字川内 128 番地	0191-72-2121
岩手県一関保健所	一関市竹山町7-5	0191-26-1415
岩手県赤十字血液センター	盛岡市三本柳6地割 1-6	019-637-7201
医療法人社団愛生会昭和病院*	一関市田村町 6-3	0191-23-2020
特定医療法人盛岡つなぎ温泉病院	盛岡市繫字尾入野 64-9	019-689-2101
医療法人社団やまと やまと在宅診療所一関	一関市宮坂町 2-9	0191-34-7025

磐井病院臨床研修プログラム

研修期間

2024年4月1日～2026年3月31日（2年間）

募集定員

8名

プログラムの特徴

Point 1:

臨床研修必修化以前から30年以上にわたり研修医を受け入れてきた実績があり、地域医療の核となる中規模病院ならではの風通しの良いアットホームな雰囲気の中で研修が行われ、更に自由選択科目履修期間を長く設定しており、研修医の希望に応じた柔軟なローテーションを提供します。

Point 2:

当院は岩手県南・宮城県北の人口約15万人の医療圏をカバーする基幹病院であり、各診療科ではcommon diseaseに対するプライマリ・ケアから専門的な診療まで幅広く対応しており、また救急診療では一次救急及び二次救急患者が多数来院するため、2年間の初期研修で自然にかなりの実力が身につきます。

Point 3:

各科でのローテーションでは医療現場でのOn the job trainingを最重視した実践的な研修を行っており、研修医の希望や診療スキルに応じて各種手術の術者や新患外来を担当するなど、チームの一員として研修を行ってまいります。

また、研修医を減点法でなく加点法で評価するため、研修医が失敗を恐れずどんどんチャレンジできる環境になっています。

Point 4:

建物が一体化している岩手県立南光病院で精神科研修を行うなど、殆どの必修科（選択必修含む）を敷地内で研修可能であり、また「いわてイーハトーヴ臨床研修病院群相互乗り入れプログラム」によって岩手県内11の臨床研修基幹病院（当院含む）での「たすきがけ研修」が可能であり、より専門的な研修や特異な症例を体験できる機会を増やし、キャリア形成を応援できる態勢を構築しております。

研修可能診療科（必修診療科および選択診療科）

消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、脳神経内科、外科、産婦人科、小児科・新生児科、救急科、整形外科、泌尿器科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、眼科、画像診断科、放射線治療科、耳鼻いんこう科、総合診療科

イーハトーヴ臨床研修病院群相互乗り入れプログラム

岩手県内11の基幹病院（当院含む）で数か月研修できる「たすきがけ研修」が可能です。より専門的な研修や特異な症例を体験できる機会を増やし、キャリア形成を応援できる体制を整えております。

磐井病院臨床研修プログラム

研修カリキュラム

1. 各診療科ローテーション研修

必修診療科 60 週、自由選択 46 週で On the job training を基本とした診療科研修を行います。自由選択については「イーハトーヴ臨床研修病院群相互乗り入れプログラム」での岩手県内他の研修病院での「たすきがけ研修」が可能です。

2. 院内オリエンテーション、メディカルスタッフ研修(1年次4月前半)

研修開始直後に約 2 週間にわたって行われる院内オリエンテーションであり、電子カルテの使い方やシミュレーターを用いた各種手技のトレーニング、看護師や検査技師、薬剤師などメディカルスタッフの業務を体験する。

3. 救急症例検討会(毎週月曜夕方)

研修医が経験した診断に苦慮した症例など教育的な症例について検討する、研修医による研修医のための勉強会。

4. 感染症勉強会(毎週木曜夕方)

ICD や ICMT による感染症の診断や治療に関する講義。グラム染色の所見から起炎菌を細菌培養の結果を待たずに同定し初期治療を開始する方法など、実践的内容を多く盛り込んでいる。

5. 救急外来における診療科毎の勉強会(5月～7月頃)

初期研修医を対象とした各診療科指導医による救急外来での対処方法についてのミニレクチャー。

6. CPC(死亡症例検討会)

主治医が臨床経過等についてプレゼンテーションした後に診断や治療方針についてディスカッションを行い、その後に病理医が病理所見について解説し、症例の診断に至るプロセスの合理性、治療の妥当性、画像所見や検査所見の整合性や矛盾点などを議論する。

7. 診療に関する各種講習会への参加

BLS (一次救命処置)、ACLS (二次救命処置)、PTLS、緩和ケア講習会、新生児蘇生法講習会の 5 つについては履修を必修として研修医の参加を義務づけている (参加費、旅費は病院支給)。

8. 医療安全、ICT、NSTに関する院内ラウンドへの参加

上記ラウンドに各自最低 1 回は参加する。

9. キャンサーボードミーティング(毎月第3木曜日)

各診療科持ち回りで臨床的に問題となる癌症例について多職種で討論を行う。

磐井病院臨床研修プログラム

10. 岩手県内臨床研修合同オリエンテーション(1年次4月)

岩手県内1年次研修医が一堂に会し、シミュレーターを用いたトレーニングや臨床推論、癌の告知等について体験、また救急医療やEBM、プロフェッショナリズムに関するレクチャーなどを受講する(岩手県臨床研修病院群の事業)。

11. レジデントスキルアップセミナー

岩手県内2年次研修医が一堂に会し、advanced OSCE等による形成的評価が行われ、各自のスキルアップを図る(岩手県臨床研修病院群の事業)。

12. 各種参加が義務づけられている院内講習会

院内医療安全研修会、院内感染症研修会は全職種参加必須となっている。

13. 献血診療研修(2年次不定期)

献血移動車(バス)に同乗し、医師として献血業務を担当する。

14. 学会活動

2年間の臨床研修期間内に、各学会の総会、大会、地方会や各種研究会などにて2回以上の口演発表を目標とし、少なくとも1回発表することを義務とする。また、2年間の臨床研修期間内に症例報告等の論文を1篇作成することを目標とする。

磐井病院臨床研修プログラム

身分

会計年度任用職員（1日7.75時間、週38.75時間勤務）

任用期間

2年。臨床研修修了後に後期研修医として採用可能

待遇

1. 給与月額：1年次 345,000円、2年次 395,000円
2. 手当：宿日直手当 10,500円（1年次） 21,000円（2年次）
※1年次の当直研修は、時間外勤務手当として支給する
3. 支給見込み額：1年次 494,465円 2年次 600,330円
（宿直4回、時間外勤務40時間として積算）
4. 休暇：年次休暇取得可能日数 1年次 10日、2年次 11日
（夏季休暇5日、年末年始の休日6日程度、特別休暇）
5. 健康保険（2年次：地方職員共済組合）、厚生年金、労災保険 適用
6. 宿舎：公舎を貸与（月額8,320円） 独身者 2K（バス・トイレ）※妻帯者には別途考慮
24時間保育所を併設
7. 医局にデスク
8. 白衣無償貸与（洗濯含む）
9. 賠償保険：病院保険に加入済、医師保険は任意加入
10. 学会出張：年120,000円
11. インターネット常時接続（研修医全員にPCとipad miniを貸与）
12. 医中誌web、医中誌DDS、METEO（メディカルオンライン）より即時、文献入手可能
13. 今日の診療指針インターネット版により、キーワードで診断、治療法が一目でわかる
14. Procedures Consult（種々の手技を動画で見られるサービス）

当直

月4回程度

安全管理

研修中は上級医に処置、処方の確認を求めること。

研修医評価

各科ローテーション終了時に、指導医、コメディカル、自らの評価を受け、スキルアップに努める。

磐井病院臨床研修プログラム

当院の協力型臨床研修病院

《協力型臨床研修病院》

協力型臨床研修病院	住 所	連絡先
岩手医科大学附属病院	紫波郡矢巾町2丁目1番1号	019-653-7111
岩手県立中央病院	盛岡市上田1丁目4-1	019-653-1151
盛岡赤十字病院	盛岡市三本柳6地割1-1	019-637-3111
岩手県立胆沢病院	奥州市水沢字龍ヶ馬場61番地	0197-24-4121
岩手県立南光病院	一関市狐禅寺字大平17番地	0191-23-3655
岩手県立千厩病院*	一関市千厩町千厩草井沢32-1	0191-53-2101
岩手県立大船渡病院	大船渡市大船渡町字山馬越10-1	0192-26-1111
岩手県立釜石病院	釜石市甲子町第10地割483-6	0193-25-2011
岩手県立宮古病院	宮古市崎鉾ヶ崎第1地割11番地26	0193-62-4011
岩手県立久慈病院	久慈市旭町第10地割1番	0194-53-6131
岩手県立二戸病院	二戸市堀野字大河原毛38番地2	0195-23-2191
盛岡市立病院	盛岡市本宮五丁目15番1号	019-635-0101
北上済生会病院	北上市花園町1丁目6-8	0197-64-7722
岩手県立中部病院	北上市村崎野17地割10番地	0197-71-1511
東北大学病院	宮城県仙台市青葉区星陵町1-1	022-717-7000
岩手医科大学附属内丸メディカルセンター	盛岡市内丸19番1号	019-613-6111
松坂市民病院	三重県松坂市殿町1550番地	0598-23-1515

磐井病院臨床研修プログラム

専門医への道 ～初期研修修了後の進路～

2013 年度修了研修医

後期研修 3名 外科1 消化器1 救急科1

院外 2名 岩手医大1 岩手県中央1

2014 年度修了研修医

後期研修 3名 外科1 消化器1 麻酔科1

院外 4名 東北大1 南光病院3 大阪医療センター1

2015 年度修了研修医

後期研修 1名 救急科兼画像診断科1

院外 6名 岩手県中央1 岩手医大2 東京医療センター1
国際医療研究センター病院1 信州大学病院1

2016 年度修了研修医

後期研修 2名 救急科1 外科1

2017 年度修了研修医

後期研修 3名 整形外科1 小児科1 外科1

院外 6名 岩手医大4 岩手県中部1 仙台医療センター1

2018 年度修了研修医

後期研修 1名 消化器内科1

院外 3名 岩手医大1 東北大1 横浜市立大学附属市民総合医療センター1

2019 年度修了研修医

後期研修 3名 外科2 消化器内科1

院外 5名 東北大1 東北労災1 東京女子医科大学八千代医療センター1
順天堂大学医学部附属静岡病院1 神奈川県立足柄上病院1

2020 年度修了研修医

後期研修 1名 産婦人科1

院外 7名 岩手医大2 徳島大学2 東北公済病院1
東京都立多摩総合医療センター1 国保旭中央病院1

2021 年度修了研修医

後期研修 2名 外科1 消化器内科1

院外 1名 日本赤十字社医療センター

2022 年度修了研修医

後期研修 3名 外科1 消化器内科1 循環器内科1

院外 1名 医療法人北仁会 旭山病院1

2023 年度修了研修医

後期研修 3名 外科1 消化器内科1 整形外科1

院外 5名 岩手医大1 東北大3 大崎市民病院1

2024 年度修了研修医

後期研修 1名 整形外科1

院外 3名 岩手県中央1 東北大1 北里大学病院1

磐井病院臨床研修プログラム

研修医出身大学一覧

大学名	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
東北大学	2	3	3	4	3	3	1	2	1	3	4	2		3		2
岩手医大	1	2				2		4	2	2	2		3	1		
秋田大学	2										1			1		1
山形大学		3						1					1			
福島医大	1														1	
東北医科薬科大														1	1	
宮崎大学	1															
群馬大学																
京都大学												1				
順天堂大														1		
女子医大																
獨協大学			2							1						
埼玉医大				1												
東京医科大															1	
聖マリアンナ医大															1	
山梨大学																
北海道大				1												
弘前大								1	1							
旭川医大					1											
新潟大					1			1								
産業医大					1											
信州大										1						
九州大							1※			1						
琉球大											1					
ナイロビ大						1										
延世原州医							1									
セゲド大														1		

※ 2 年次より当院で研修開始